



豊間根 彪議員

環境衛生

ゴミの不法投棄の現状と対策

監視体制を強め防止に努める

質問

- ①ゴミの不法投棄の現状とその対策はどうか。不法投棄に要した費用は。
- ②家庭ごみ、事業系ごみはどのように分別収集しているか。また、それぞれの業者名と収集料金はトシ当りいくらか。
- ③し尿汲み取り業者の料金は適正に徴収されているか。

- ④産廃として不要自動車の野積が豊間根地区内に一千台程放置されている。県は条例でその対策にあつてはいるが、町はどのような連携でその対策にあたっているか。

沼崎町長

①町公衆衛生組合連合会や関係機関、団体の協力です。



ゴミの減量化と資源の有効利用のため分別収集は大事なことです

年々向上しているが、より監視体制を強め防止に努める。不法投棄の費用は十月末で十三万八千円を要している。

②一般廃棄物収集業者は山田清掃社、芳賀清掃社、マルヨ産業運送、三陸清掃社の四社で、収集費用は一ト当り九千四百八十三円が負担している。

る。事業系ごみは、家庭ごみの業者に大和食品を加えた五社で収集料金は商店など事業者の負担。③し尿汲み取り業者は四社で、料金は適正と思われる。

町独自の新年度対策は

少子化対策

支援総合窓口の設置を予定

質問

少子化対策に国は抜本的な法改正をし、国民で子育てをするようであるが、国県の少子化対策の具体的な通達などがあつたか。また、町独自の新年度の方針はどの方向にあるか問う。

沼崎町長

少子化社会を向かえ国においては、平成十二年度から新エンゼルプランを策定、地域子育て支援センターの整備、延長保育や放課後児童クラブの推進などを実施している。この計画は、平成十六年度まで、今年七月次世代育成

支援対策推進法が平成十七年度から十年間の期限立法として成立、公布された旨県より通知があつた。

それによると県、国、地方公共団体、企業等が一体となって、子育て機能の再生を図るために、地方公共団体や企業は子育てや家庭、仕事の両立などに関し行動計画を策定しなければならぬことなどが定められている。新年度本町は、子育て支援情報、支援総合窓口の設置、ブックスタートの実施などを予定している。



田村剛一議員

都市計画

大丈夫か区画整理と病院建設

4年間延長・他のプロジェクトも見直し

質問

町民の間で「土地区画整理事業が四年くらいおぼろげだ」といわれている。これは事実か。他のプロジェクト事業はどうか。県立山田病院の移転改築について、規模、診療科目、医師、施設設備など、町民が望む町の中核病院にふさわしい体制がとられるか。

沼崎町長

土地区画整理事業は、平成十年三月から十年計画でスタート。計画

どおり十年で完了するには、各年度十億円を超す事業費が必要。現下の財政状況では、事業費確保も難しく、山田病院新築の関わりなどから、四年間延長すること調整している。他のプロジェクトについても見直し作業を進めている。

山田病院については、用地取得が進められており、計画どおり進むものと考えられている。診療体制、医師確保

保などについては、本町の中核病院の役割を担えるよう、医療局、岩手医大に要望している。

質問

町の議会でも県立病院の充実を求め行動を起すことにしている。町当局としても強力な運動を展開してはどうか。

横田保健福祉課長

町としても町民と一体になり運動を進めるため、町民の署名活動を行いたい。

町の考えを聞く



県下でも2番目に投票率を下げた衆院選

衆院選

投票率低下政治不信では

向上のため啓発に努める

質問

先の衆院選の投票率は、全国的に低下した。中でも本町は、前回の投票率を著しく下回った。この結果を町長、町選挙管理委員長はどのように分析され、今後にかさそうとしているか。

和合選挙管理委員長

指摘のとおり衆院選の投票率は比例代表で五・二八%、小選挙区で五・二五%と県下でも二番目に投票率を下げた。大変残念に思っている。

前回の投票率が県内でも比較的高かったこと、投票日が雨模様だったことが考えられる。今後、投票率向上のため、啓発に努めたい。

質問

背景に政治不信がなければよいがと思うが、選挙運動にかかわった町長としての見解は。沼崎町長



厳しい財政状況により工事のおくれが心配「柳沢北浜地区土地区画整理事業」